

目指す児童像 『自分で考え、よりよい判断ができる子ども』

殿堂入り

日米のプロ野球で通算 4367 安打を記録した選手が、今年日米の野球殿堂入りを同時に果たしました。その記者会見で次のようなことを語られていました。

「僕より優れた能力をもった人はたくさんいます。僕がこのような栄誉をいただいたのは、自分の能力の生かし方を追究したからではないでしょうか」

また、この選手を特集した過去の映像では、「一気にゴールにたどり着くことはないんですね。繰り返しコツコツと積み重ねるしかないんですよ」という趣旨のことも言われていました。

私たち一人一人が持っている能力は違います。スポーツの世界で花開く人もいれば、文学の世界で輝く人もいます。

また、野球というスポーツの世界でも選手、監督、コーチ、トレーナー、スカウト、グラウンド整備員、野球雑誌記者、ユニフォームデザイン……、自分の能力の生かし方は数多く存在します。「自分の能力の生かし方」次第で人はどのようにも輝けると思いました。

さらに 4367 安打にも最初の 1 本目があつたはずです。輝かしい成果や成績に私たちは目を奪われがちです。しかし、それはたゆまぬ努力や研究の積み重ねの先にあることを忘れてはならないと思います。

現代の風潮として、簡単に答えにたどり着きたい、少ない労力で大きな成功を収めたいという人が少なくないと思う時があります。

努力が必ずしも報われるとは限らないことも事実ですが、成果や成功を求めるのであれば、努力は必要不可欠であると、この選手の言葉から改めて思いました。

三寒四温

2月も半ばを過ぎました。卒業式まで休日も含め1か月です。この時期は春を思わせる陽気になったかと思えば、冬に逆戻りといった日もあります。着る物の調整もなかなか難しいですが、体調を崩さず今の学年の残りの日々を過ごしてほしいと思います。

また、寒さの中にも梅の花の開花や水辺にいた渡り鳥の姿が見られなくなるのも春の訪れを感じさせます。

一日一日の中に季節の移り変わりを感じる気持ちのゆとりを持ちながら過ごしたいものだと思います。

